

ホースメン (2008)

HORSEMEN

メディア 映画

ジャンル サスペンス ホラー ミステリー

製作国 カナダ/アメリカ

色彩 Color

時間 90分

初公開日 2009/10/24

公開情報 カルチュア・パブリッシャーズ

映倫 R15+

【キャッチコピー】

美しき殺人鬼の罠に、世界が墮ちる

【解説】

「グリーン・デスティニー」「SAYURI」のチャン・ツイイーが猟奇殺人鬼役に挑戦した異色のサスペンス・スリラー。“黙示録の四騎士”をなぞらえた連続殺人事件の謎を追う主人公刑事が、自ら殺人を自供した美しき犯人に翻弄されていくさまをミステリアスに描き出す。刑事役には「デイ・アフター・トゥモロー」「バンテージ・ポイント」のデニス・クエイド。監督は「SPUN スパン」のジョナス・アカーランド。

妻に先立たれたベテラン刑事エイダン・ブレスリンは、仕事に追われるあまり溝の出来てしまった2人の息子との関係に悩んでいた。そんなある日、銀のトレーに生きたままペンチで抜かれたと思われる大量の歯が置かれた死体なき殺人事件が発生する。現場には“来たれ”という謎のメッセージが残されていたが、その意味の解明も進まぬうちに、今度はメリー・アン・スピッツという中年女性が新たな拷問殺人の犠牲者に。そのショッキングな死体の第一発見者は彼女の養女でまだあどけなさの残る東洋系美少女クリスティンだった。その心中を慮って彼女に優しく接するブレスリン。ところが捜査が行き詰まる中、クリスティンは自分がメリー・アンを殺害したと告白、不敵な笑みを浮かべて共犯者による猟奇殺人はまだ終わりではないとブレスリンを挑発するのだった。

【クレジット】

監督	ジョナス・アカーランド	Jonas Akerlund
製作	マイケル・ベイ	Michael Bay
	ブラッド・フラー	Brad Fuller
	アンドリュー・フォーム	Andrew Form
製作総指揮	テッド・フィールド	Ted Field
	ジョー・ドレイク	Joe Drake
	ネイサン・カヘイン	Nathan Kahane
	ジョー・ローゼンバーグ	Joe Rosenberg
脚本	デヴィッド・キャラハム	David Callahan
撮影	エリック・ブロムス	Eric Broms
プロダクションデザイン	サンディ・コ克蘭	Sandy Cochrane
衣装デザイン	B.	B.
編集	ジム・メイ	Jim May
	トッド・E・ミラー	Todd E. Miller

音楽
出演

ヤン・A・P・カチュマレク	Jan A. P. Kaczmarek	
デニス・クエイド	Dennis Quaid	エイダン・ブレスリン
チャン・ツイイー	Zhang Ziyi	クリスティン
ルー・テイラー・プッチ	Lou Taylor Pucci	アレックス・ブレスリン
クリフトン・コリンズ・J r	Clifton Collins Jr.	スティングレイ
パトリック・フュジット	Patrick Fugit	コーリー
ピーター・ストーメア	Peter Stormare	デビッド
バリー・シャバカ・ヘンリー	Barry Shabaka Henley	タック
エリック・バルフォー	Eric Balfour	テイラー
ポール・ドゥーレイ	Paul Dooley	ホワイトレザー神父
チェルシー・ロス	Chelcie Ross	警察本部長
トーマス・ミッチェル	Thomas Mitchell	
リアム・ジェームズ	Liam James	
マンフレッド・マレツキ	Manfred Marezki	
アルヌ・マクファーソン	Arne MacPherson	